

令和元年第3回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発言の要旨 |
|----------|--|--|---|
| 1 | 自由民主党 代表質問 1番 西川 宏 (質問方式) 一問一答 | 1. 政府が推し進めている地方創生において、極めて重要なテーマである地方分権改革「提案募集方式」を大いに活用していく為に 2. マイナンバーカードの普及に対する取り組みについて 3. 防災・減災対策および災害時における避難所の環境改善をもとめて 4. 富田林の安全・安心なまちづくりについて 5. 少子高齢化社会において市立図書館が担う役割について | (1) これまでの地方分権のながれについて説明を求める (2) 「提案募集方式」の概要について、「国家戦略特区」との違いも含めて説明を求める (3) 各課の問題点の吸い上げについては、どのように行っているのか聞く (4) この制度を利用した本市のこれまでの提案状況について聞く (5) 活用に向けた本市の考え方について聞く (1) マイナンバーカードの安全性について聞く (2) 地方公務員等のカード取得について、その動きになっている経緯の説明を求める (3) 市としてのこれまでの取り組みについて聞く (4) マイナンバーカード交付円滑化計画についての説明及び今後の取り組みについて聞く (1) 堤防強化など浸水被害防止対策について、今後の本市の取り組みについて聞く (2) 富田林市ハザードマップの見直しについて、今後の本市の考え方、取り組みについて聞く (3) 避難所における衛生に関する備蓄状況について聞く (4) 災害時に強いLPガス空調を導入してはどうかと思うが、市の見解を聞く (1) 本市における公共施設等へのバリアフリー施策の取り組みについて聞く (2) 補助犬に対しての現在の取り組みについて聞く (3) 障がい理解への現在の取り組みについて聞く (1) 自動車文庫車両を軽自動車に買い替えたと聞いているが、利用者からの声はどのようなものか聞く (2) 図書館の高齢者利用の割合について、最近の動向について聞く (3) 図書館利用を伸ばすための取り組みについて、これまでどのような改革や取り組みを行ってきたのか聞く (4) 今まで以上の利用者増加を図るため、読書通帳機器を導入したらどうかと思うが、市の見解を聞く |
| 2 | 大阪維新の会・無党派の会 代表質問 12番 京谷 精久 (質問方式) 一問一答 | 1. 健やかに暮らすための健康づくり・医療 | (1) 富田林病院の建て替え事業について ①「地域医療構想」を踏まえてのこれまでの病院の取り組み状況について ②今後の高齢化の地域医療の維持や地域連携に向けての見解を聞く (2) ワクチン等による大人の感染症対策について ①風疹ワクチンの接種率向上とその対策について聞く (3) 富田林市老人クラブ連合会による会員優待制度について聞く ①その制度の内容と効果等について ②高齢者運転免許証自主返納への支援策の一つとして活用してみても (4) 高齢者への特殊詐欺防止対策について ①これまでの特殊詐欺被害防止への取り組み状況とその効果検証と実効性のある方策を求める ②自動通話録音機の府下での貸し出し状況と有効な防止対策として本市での取り組みについての見解を聞く |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発言の要旨 |
|----------|--|------------------------------|---|
| | | 2. 学校教育の充実について | (1) プログラミング教育必修化について ①教育のICT化に向けた環境整備5ヵ年計画に基づく整備の進捗状況と今後の取り組みについて ②教員へのプログラミング研修の充実とスキルアップへの取り組み状況を聞く ③子どもたちが興味を持って取り組める様にリアルな教材利用と授業展開を求めて (2) 学校でのSNS教育と啓発の必要性について ①ペアレンタルコントロールを中心にネット犯罪、ネットいじめ、ゲーム依存などから子どもたちを守る積極的な取り組みを求めて |
| | | 3. 安全・安心な暮らしの確保 | (1) 通学路等での歩行者の安全対策強化について ①大津市事故後の通学路などの再点検や児童らが利用する交差点や歩道の具体的な安全対策の進捗状況について ②スクール・ゾーンに準ずるキッズ・ゾーンの設定やゾーン30を推進した積極的な事故防止対策を求める (2) 防災・減災対策について ①洪水・土砂災害ハザードマップの避難訓練等でのさらなる活用を求めて ②同報系無線の整備・改良状況と戸別受信機の設置促進による災害情報の伝達強化を求める |
| | | 4. 環境にやさしいまちづくり | (1) 富田林版SDGs取組方針について ①これまでの進捗状況と今後の展開について ②レジ袋の有料化や食品ロス削減について公民連携も含め本市の見解を聞く |
| 3 | ふるさと富田林 代表質問 4番 吉年千寿子 (質問方式) 一問一答 | 1. ボール遊びのできる公園の設置を求めて | (1) 「危険なボール遊びの禁止」の看板設置と市の見解について (2) 公園の近隣住民からの苦情への対応と協議する場の設置について (3) 市内に野球やサッカーができる場所がどの程度あるのか (4) 子どもたちが安心してボール遊びのできる公園の設置を |
| | | 2. 富田林農産物によるブランド商品の継続を求めて | (1) 生活改善クラブ連絡協議会の沿革とこれまでの活動実績について (2) 生活改善クラブ連絡協議会で開発して発売してきた商品について (3) 生活改善クラブ連絡協議会解散後のブランド商品の継続について |
| | | 3. 本市ができるケアラー支援について | (1) ヤングケアラーの実態把握と福祉に繋げる支援について (2) 発達障がいを含む障がい児の家族に対するケアラー支援について (3) 多重介護を担う家族へのケアラー支援について |
| | | 4. 孤立死に繋がるセルフネグレクトへの支援体制について | (1) 全ての世代にわたるセルフネグレクトの実態把握について (2) ごみ屋敷問題への介入によるセルフネグレクトへの支援について (3) 高齢者保健福祉計画や地域福祉計画にセルフネグレクト支援を (4) 孤立死が発生した後の対応と特殊清掃費用の問題など様々な支援制度創設を求めて |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発 言 の 要 旨 |
|----------|--|-----------------------|--|
| | | 5. 第8期介護保険事業計画の策定に向けて | (1) 第7期介護保険事業計画半ばでの実施状況と検証について ①介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況と今後の課題について ②地域包括支援センターの業務実績と評価、今後の課題について ③財政的インセンティブの昨年度実績と今年度の動向と見通しについて (2) 第8期介護保険事業計画の策定に対する要望について ①地域ケア会議の充実とケアマネ支援について ②地域に根差した小規模事業所への支援について ③セルフネグレクトを含む高齢者虐待防止対策について |
| 4 | 公明党 代表質問 8番 村山 理恵 (質問方式) 一問一答 | 1. 行財政改革の推進について | (1) 市民に分かりやすい「財務諸表」及び、課別・事業別行政コストを含めた「事務事業評価シート」の作成をもとめて（町田市の例を参考に） (2) 国・府・団体などの各種事業を有効に活用し、市負担の軽減と地元負担の軽減をもとめて ①土地改良事業補助金等の創設を求めて |
| | | 2. 防災対策の充実について | (1) 文化財の防災対策について ①文化財の防災を万全にするために、防火対策と耐震対策の現状について ②特に寺内町は木造住宅の密集地であることから、事前防災に関する支援などをしてはどうか (2) 防災リーダー養成講座の充実を求めて ①平成29年度創設時からの実績について ②防災リーダー養成講座修了者のフォローアップについて ③自主防災会の方だけではなく、一般市民も受講できる体制を求めて (3) 「感震ブレーカー」の普及・啓発の現状と、設置補助制度の創設をもとめて |
| | | 3. 交通安全対策と交通施策について | (1) 交通不便地域の現状と今後の取り組みについて ①本市の交通施策における現在の進捗状況について ②先進市（豊中市等）の事例と本市における今後の取り組みや展望について (2) 保育施設周辺に「キッズゾーン」を整備することについて ①各保育施設散歩コースの安全点検を受けて整備した安全施策の進捗状況について ②大阪府や警察と連携して検討し「キッズゾーン」を整備することについて |
| | | 4. 子育て施策の更なる充実を求めて | (1) 幼児教育・保育の無償化に伴う更なる保護者負担の軽減について ①本年10月から幼児教育・保育の無償化がスタートしたが、現状と影響について ②保育所等の給食費について、副食費が新たに徴収されることになったが、保護者負担の更なる軽減について市の見解を問う (2) 安全・安心な学童クラブ事業をもとめて ①平成27年度の子育て支援新制度の施行を受けて本市の整備状況や取り組みについて ②保護者の多様な勤務形態に合わせた学童クラブの拡充をもとめて（長期休暇中の開設時間の延長など） |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発言の要旨 |
|----------|---|-------------------------|--|
| | | 5. 市役所での市民の利便性を向上させるために | (1) 市民サービスの更なる向上をもとめて ①「お悔やみ窓口」を開設し、ワンストップ化で手続き時間の短縮を (2) 市民が使いやすいこれからの市庁舎にもとめること ①市民が様々な活動に使い、市民をはじめ市内の企業間や大学生などが交流を持てるスペースの設置を（八尾市の「みせるばやお」などを参考に） ②富田林市の歴史を学ぶことができる文化歴史資料館の設置を ③障がいのある方も力を発揮できるような食堂やカフェの設置を |
| 5 | 日本共産党 代表質問 16番 田平まゆみ (質問方式) 一問一答 | 1. 大雨・台風への防災対策の強化をもとめて | (1) 「100年に1度の大雨」が起きた場合には、どのような被害が予想されるのか。 (2) 河川の防災対策について ①過去に大雨が発生した時に、石川の増水でバックウォーター現象が起きた地域や、浸水事故があった地域、洪水浸水想定区域の浸水対策はどのように取られているのか ②豪雨で滝畑ダムの水量が総調節容量を超えた場合、放流による下流河川の増水被害対策は ③市内の橋梁についての法定定期点検結果と、大雨についての対策は (3) 富田林市の消防体制について ①富田林市の消防職員数と充足率は ②消防職員の増員・装備の充実についての計画は ③消防団の強化はどのように進んでいるか (4) 自主防災組織の設立の状況と充実について ①現在の自主防災組織の設立状況は ②自主防災組織への連絡体制や住民への避難情報の伝達の改善は (5) 防災体制の確立について ①市として、最近の災害の教訓から、各地で実施されるようになった取り組みで取り入れるべきものは ②全国で発生している規模の災害に対応できる、市の防災体制の確立についての見解は |
| | | 2. 安全な駅と踏切への対策をもとめて | (1) 富田林市は、電車の安全走行や利便性の向上について、鉄道事業者とどのような協議の場を持っているのか (2) 富田林市として踏切の安全対策は ①市として踏切の歩行者に、安全な通行を確保するための総合的な計画対策は ②高齢者の手押し車が安全に踏切を渡れる対策は ③踏切の拡幅や信号機の設置など、喜志7号踏切の安全対策について ④桜井1号線近鉄高架工事の進捗状況と、踏切がなくなる箇所について (3) 市として、鉄道事業者に対し市民の安全の確保のために、駅の無人化の是正を求めるべきだと考えるが、市の見解は |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発言の要旨 |
|----------|-------|--|--|
| | | <p>3. 教員の異常な長時間労働の是正をもとめて</p> | <p>(1) 「教職員の長時間労働の実態」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①本市教職員の勤務状況・残業時間はどのようになっているか、状況と見解は ②教員の勤務時間は法律上何時間で、実際の勤務時間は何時間か、勤務時間をどのようにして把握されているのか ③タイムカードの設置はされているのか、正しい勤務時間を把握するためという目的意識をもっているか ④持ち帰り仕事や、土日祝日や夏休みなどの出勤の実態の把握は ⑤教員一人当たりの持ち授業時数は週何コマで1日平均何コマか ⑥教員の多忙化、長時間労働の改善をすすめるためにも、国・府に教員定数の増員を強く求めることが重要だと考えるが、見解は ⑦小中学校の全学年で少人数学級の実施を求めるが見解は。そのためには、何人の教員増が必要か <p>(2) 教員の長時間労働を是正する業務の削減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、介助員などの配置状況および職務内容、学年主任やクラスの担任、支援学級の教職員との連携状況は ②市独自のふりかえりテストの目的は何か、結果は子どもたちのためにどうかされているか ③全国学力テスト、市独自のふりかえりテストの教員負担についての見解は ④教員の具体的な業務削減対策と見解は ⑤有給、病休、産休、育休などの取得状況は ⑥休暇をとっている間の、代替え教員確保の現状と課題は |
| | | <p>4. 性的少数者LGBTの方々に対する社会的権利を保障する施策と理解促進をもとめて</p> | <p>(1) ソジハラスメント（性的指向・性自認に対する差別的言動）防止対策や相談窓口の設置を</p> <ul style="list-style-type: none"> ①LGBTに関して、定期的に専門家に相談できる電話相談窓口を ②児童・生徒が自らLGBTに関わる情報を調べて不安や疑問を解消できるように、関連する図書を学校に置く検討を ③性的マイノリティについての正しい知識と偏見や差別をなくするための職員向け研修や、市民向け啓発活動の検討を ④性的少数者が行政手続きにおいて不快感を覚えることのないよう、各種申請書類などに配慮を ⑤市庁舎や学校・園なども含む市内公共施設、病院や駅などのトイレに、「みんなのトイレ」や「誰でもトイレ」などとも呼ばれる多目的トイレの設置促進を <p>(2) 同性パートナーシップ条例や制度の創設をもとめるが見解は</p> |
| | | <p>5. 富田林病院の存続と、厚生労働省の統廃合方針の撤廃をもとめて</p> | <p>公的病院である済生会富田林病院の役割と、厚生労働省の削減再編を求める動向についての見解と、国・府への要望状況を聞く</p> |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発 言 の 要 旨 |
|----------|------------------------------------|--|--|
| 6 | 2番 南方 泉 (質問方式) 一問一答 | 1. 行財政改革について 2. ゼロベースにした富田林市立幼稚園・保育所のあり方の検討状況について 3. 新規就農者を育成するための「農のスクール」確立について | ①行財政改革プランの過去の経緯と成果について ②令和2年度からの「第4期行財政改革プラン」の作成スケジュールや内容について ③第4期行財政改革プランに関して経営のプロ等の有識者委員会設置を ①未就園児クラスを週に2日のところを5日に増やすことを検討して頂きたい。 ②子育て世代の利便性向上のため公立幼稚園バスの運行の可能性について。 ③幼稚園の跡地を地域の集いの場として再利用・活用すべく検討を。 ①農業塾「農のスクール」を農業委員会の任意の農政部会「未来を拓く会」で確立してはどうか ②本市の近隣他市にない独自性のある農業者支援の仕組み作りについて ③「地球環境も考慮した幅広い農業」を学べる具体的な組織について |
| 7 | 18番 中山 佑子 (質問方式) 一問一答 | 1. 市庁舎建替え事業について | (1) 市庁舎建替えは、現敷地での別館、南館、北館の順で建て替えること（約75億）が最有力であり、市長がそれで決まりと言っていたとの話を聞きましたが、現地で建て替えるか、それとも移転するかということも含め、すべては、これから検討することで間違いないでしょうか。 (2) 市庁舎耐震化庁内検討会議報告書P. 24～に記載の「別敷地での整備方法」では、すばるホールは検討されていますが、市民会館レインボーホールは候補の一覧から外れており、全く検討されていません。市民会館レインボーホールが対象になっていないのはどうしてですか。また、市庁舎耐震化庁内検討会議以降、別敷地での建て替え等の検討をしていますか。 (3) 本市の市庁舎整備基本計画策定業務委託先は、契約金額1672万円で株式会社ニュージェックに決まりました。この株式会社ニュージェックの直近の事業は、契約金額1328万円の島本町新庁舎建設基本計画があります。そして、島本町では、①ワークショップでの市民の意見が反映されていない、②経過及び結果報告が一切なかったとの問題がありました。市民本位の市政を重きに鑑みる本市としては、この問題をどのように考えますか。 (4) 庁舎整備基本計画策定委員会の公募委員が3名で、市民ワークショップの予定人数が20名程度とのことですが、このような少数意見で市民の同意が得られると考えているのですか。 (5) 財源については、令和2年度までに新庁舎建設の実施計画に着手して、建て替えを実施すれば、国の「市町村役場機能緊急保全事業」を適用することができ、約11～12億円の地方交付税措置を受けることができました。この有利な財源を利用するためには、時期が遅すぎるのではありませんか。なぜ、もっと早くから市庁舎建替え事業の検討をしなかったのですか。仮に、百歩譲って、東京五輪及び大阪万博の影響による建材費の高騰を避けるためだという理由ならば、建設着工時期をいつにすれば最小の経費で済むのでしょうか。 |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発 言 の 要 旨 |
|----------|-------|---------------------------------|---|
| | | <p>2. 富田林病院に関する意見交換等協議会について</p> | <p>平成30年度主要事業の決算概要P. 110によると、本年度11億6152万2000円を本市が拠出しており、事業内容は「富田林病院の運営に必要な貸金の貸付を行うほか、送迎用バス運行及び救急診療に対する補助を行う。また、新病院完成までの間、必要最小限で施設整備の補助を行う。」と記載されています。</p> <p>しかし、本市は、補助金を出すのみで、経営に口出さないという協定を締結しています。そもそも、この協定を見直すべきではないでしょうか。なぜなら、令和元年9月26日、厚労省が全国424の公立・公的病院について「再編統合について特に議論が必要」とする分析をまとめ、病院名を公表し、その中に富田林病院が入っていたからです。</p> <p>厚労省の分析の内容は、まずA分析で、9項目につき診療実績が特に少ないか否か、次にB分析で、6項目につき類似かつ近隣に機能を代替できる病院があるか否かを精査しています。</p> <p>残念ながら、富田林病院は、A分析のうち、心筋梗塞、脳卒中、小児、周産、災害、へき地の6項目で、診療実績が特に少ないと判断されています。その詳細をみると、心臓カテーテル手術を除く外科手術が必要な心疾患、脳卒中、小児医療の診療実績がゼロとなっています。なお、周産は、多額の税金をかけたお産センターでの分娩件数が僅か10件となっています。また、B分析では全ての項目につき、近隣に機能を代替できる病院があると評価されています。</p> <p>最後に、大阪南医療センターの循環器疾患センター部長の安岡良典先生は、「虚血性心疾患の治療である冠動脈インターベンション（PCI）は、我々基幹病院の責務であり、当院では24時間365日緊急で施行できる体制を整えています。」と話されています。つまり、心筋梗塞及び脳卒中患者に対する救急体制が整わない限り、富田林病院は基幹病院とはいえません。</p> <p>さて、質問に入ります。平成29年2月8日付締結の『富田林病院の譲渡等に関する基本協定書』中、第6条第11項には、本市と富田林病院は「意見交換等の協議を行う機会を年1回以上設けるものとする」と規定されています。平成29年2月8日から現在まで何回協議しましたか。議事録は作成していますか。その協議では、診療実績等の詳細なデータにも着目した上で、住民に必要な医療を、質が高く効率的な形で不足なく提供できるかという視点の議論をする必要があります。議員が発言する機会を設けてもらえないのでしょうか。百歩譲って、傍聴することはできないのでしょうか。お答えください。</p> |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発言の要旨 |
|----------|-------|---|--|
| | | 3. 法定外公共物（水路）について | <p>富田林市内の水路を実地調査してみると、蓋のない危険な横幅130cm深さ140cmほどの用水路があります。そして、その数も少なくありません。</p> <p>本市には、危険な水路は約何キロメートルあるのでしょうか。</p> <p>さて、水利組合の同意書がなければ、市民の生命身体の安全のために水路に蓋をすることができません。そして、一部の水利組合は、150万円で同意書を書くと言い、高額な金銭要求をします。</p> <p>当然のことながら、市民の生命身体の安全と水路清掃の利便性を利益衡量すれば、前者が勝ります。また、取り外し可能なグレーチング蓋にすれば、水利組合による水路清掃や草刈りなどの日常管理への支障をきたすことはありません。</p> <p>最後に、ひとたび水路への転落事故が発生すれば、本市は被害者から国家賠償法第2条に基づき損害賠償請求される可能性もあります。</p> <p>今まで、水路への転落事故の報告を受けたことがありますか。</p> <p>以上より、富田林市法定外公共物管理条例施行規則に定める申請に必要な書類として「利害関係人の同意書（＝水利組合の同意書）」は、本当に必要ですか。</p> |
| | | 4. 法定外公共物（里道）について | <p>(1) 用途廃止申請及び払下げを受けるためには、法定外公共物の近隣の土地所有者（隣接土地所有者）のほか、町内会長の同意書を必要としますか。また、本市において、町会長の同意書がなければ許可しない申請はいくつありますか。</p> <p>(2) 町会長の私怨等により、町会長の同意書が得られない場合があることを知っていますか。そのような場合の代替措置はありますか。</p> <p>(3) 町会長の同意書を必要とする許可要件につき、どのように考えますか。</p> |
| | | 5. シルバー人材センターとは別に株式会社をつくり、フルタイム就業斡旋を（逗子市株式会社パブリックサービス、松山市いきいき仕事センターを例に） | <p>そもそも、シルバー人材センターが今の時代に合っているかという点、全く合っていません。まず、実態として、会員は、センター職員の指揮監督命令下であり、労働者であるにもかかわらず、労働基準法、労働組合法及び労働関係調整法にくわえて、労働者災害補償保険法が適用されません。労働関係法令が適用されなければ、安心して働くことができません。</p> <p>そこで、逗子市株式会社パブリックサービスのよう、「株式会社」方式を用いたシニア・シルバー雇用を目的の一つとする企業とします。</p> <p>そして、既存のシルバー人材センターを法人化することは困難なので、新たに開設する手法を選択します。その手法は、松山市の「いきいき仕事センター」が参考になります。</p> <p>さて、松山市は、2014年7月からシルバー人材センターが仕事いきいきセンターを発足させ、フルタイムの仕事を提供し始めました。松山市の公式サイトには松山市シルバー人材センター内「いきいき仕事センター」（高齢者就労総合相談窓口）を開設、と記載されていますが、厳密には、シルバー人材センターはフルタイムの仕事の斡旋はできないため、松山市シルバー人材センターの母体となる公益社団法人がセンター事業とは別に、「いきいき仕事センター」事業を開設した形になります。</p> <p>つまり、松山市の「いきいき仕事センター」を株式会社の形態にすれば、労働関係法令の法の保護を受け、高齢者が安心して働くことができるようになります。</p> <p>本市のシルバー人材センターはもとより、全国のシルバー人材センターの問題を解決するためにも、有識者をまじえて取り組むべきと考えますが、本市の見解をお聞かせ下さい。</p> |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発言の要旨 |
|----------|-------|---|---|
| | | <p>6. 動物を愛護する心を育むとともに、動物に関する正しい知識や理解を深める教育を</p> | <p>富田林市内には「猫を葬ろう」などと書かれた悪質な看板が各所にあったことから、本市が猫を殺処分しているのではないかとの誤解がされています。本市から該当自治会に対し、看板を撤去するよう要請することはできないのでしょうか。また、そのような看板を設置する大人の影響下で、子どもに対しても「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「大阪府動物の愛護及び管理に関する条例」の精神に反する教育がなされています。</p> <p>本市は、動物を愛護する心を育むとともに、動物に関する正しい知識や理解を深める教育につき、どう取り組んでいますか。</p> <p>さて、今年、動物愛護管理法の改正がなされ、3年以内に施行されます。10月より大阪府では、動物虐待通報共通ダイヤル「アニマルポリス」制度も始まりました。堺市では、猫の不妊去勢の助成金制度があります。</p> <p>大阪市では、地域猫制度を創設し、2500円で不妊去勢手術の送迎まで行って、餌やりの登録ボランティアと共に適正管理も進めています。和泉市では野良猫の不妊去勢手術を中心とした「猫の命を守るプロジェクト」がふるさと納税で行われ、100万円の目標額が18日間で達成をしております。</p> <p>野良猫の問題は、動物愛護だけでなく、地域住民の環境問題でもあるので、このような取り組みを全国の自治体で行っています。</p> <p>また、高齢者などが入院や施設入所される場合、飼っていたペットの引き取り手がなく、飼い猫が増えて多頭崩壊する事例も多数見られます。</p> <p>本市では、このような事態の想定が出ているにもかかわらず、里親探しや飼育指導等、何らの手当も行っていない状況ですので、事実上、野良猫を市が増やしている結果にもつながっている可能性があります。</p> <p>そこで、本市は、ふるさと納税による「猫の命を守るプロジェクト」や、登録ボランティア制度を導入すべきだと考えますが、本市の見解をお聞かせください。</p> |

一般質問一覧表

| 発言 順位 | 発言通告者 | 発言の主題 | 発 言 の 要 旨 |
|----------|--|---|---|
| 8 | 10番 左近 憲一 (質問方式) 一括質問 一括答弁 | 1. 監査委員3名の責務について 2. 公金の会計監査の審査範囲はどこまでされているのか 3. 富田林市職員措置請求について 4. 富田林市条例第15号 富田林市規則第11号 富田林市議会政務活動費交付条例、規則、様式等について 5. 主題項目（会計処理等について） | (イ) 様式第10号（第8条）（支払い伝票）等 (ロ) 様式第9号（第7条）（出納簿）等 (ハ) 様式8号（3） 修正簿等 (ニ) 規則第11号第8条 政務費の支出等 (ホ) 規則第9条第2項 政務費専用預金口座通帳等 (ヘ) 規則第9条書類等の保存 (ト) 規則第10条 条例第7条1項 2項等 (チ) 様式第8号の1（第7条）等 |
| 9 | 13番 村瀬喜久一郎 (質問方式) 一問一答 | 1. 本市における21トリソミー（ダウン症候群）の方々への支援体制について。 2. 本市における児童養護施設等退所者へのアフターケアの取り組みについて。 | (1) 本市におけるダウン症を抱える方々への支援体制について市民の皆様 に日常から周知することについて。 (2) ダウン症子育て手帳「+H a p p yしあわせのたね」の配布・活用について。 (1) 国・府や本市の支援状況と、日本版パーマネンシー・パクト（児童養 護施設や里親家庭で育つ若者たちのパーマネンシーを築くためのツール） の普及、活用について。 (2) 市営住宅を用いての住居支援策の検討について。 |